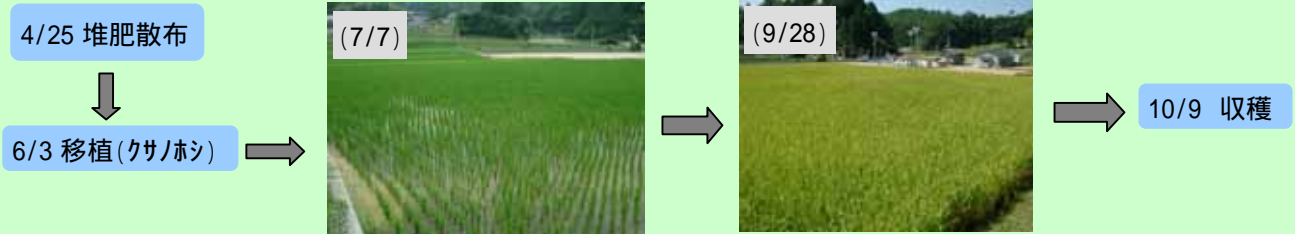


# 牛ふん堆肥と鶏ふん堆肥による 飼料イネの無化学肥料栽培技術

牛ふん堆肥と鶏ふん堆肥の基肥一発で飼料イネの栽培が可能



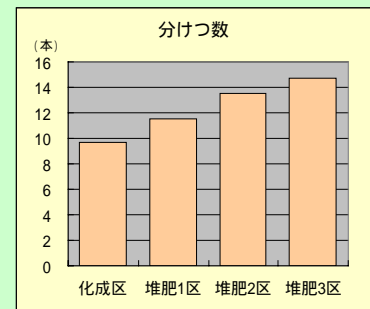
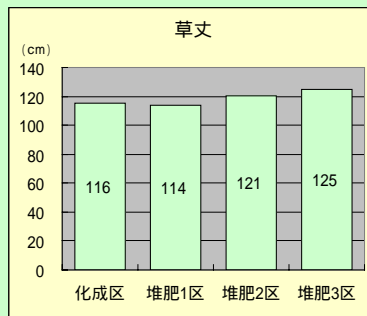
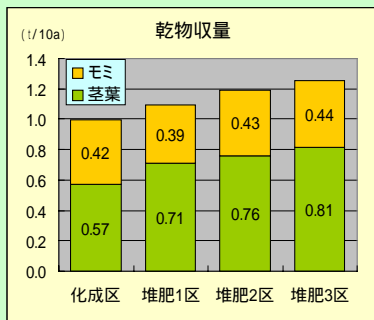
## 試験区分

試験区名	施肥N量 (kg/10a)			施肥量 (t/10a)	
	肥効量	牛ふん堆肥	鶏ふん堆肥	牛ふん堆肥	鶏ふん堆肥
化成区	8.4	(基肥5.6, 穂肥2.8)			
堆肥1区	8.4	14.0	8.0	1.2*	0.4
堆肥2区	11.2	14.0	12.0	1.2*	0.6
堆肥3区	14	14.0	16.0	1.2*	0.8

牛ふん堆肥: 水分(45.5%), N含量(1.15%), 肥効率(20%)

鶏ふん堆肥: 水分(23.8%), N含量(2.0%), 肥効率(70%)

\*: 今回施肥した牛ふん堆肥 1.2t は、水分70%の牛ふん堆肥では2.2t/10aに相当



## 期待される効果

- ・耕畜連携の推進
- ・肥料代の節減
- ・追肥労力の削減
- ・有機飼料の生産

無化学肥料栽培 + 無農薬栽培等  
有機JAS規格をクリアして生産された飼料は、**有機飼料**の表示が可能。



## 今後の課題

- ・堆肥の連用効果を確認し、連用時の施用量を検討する。